

# PACについて

## 1. PACとは？

公務員、教員をめざす学生を支援するために本学で開発されたプログラムです。PAC（=Program for Advanced Careerの略）は「発展職業プログラム」を意味し、特に公務員試験、教員採用試験対策のための学習支援プログラムです。難関といわれる試験に合格し、夢をかなえるために、進んで受講して実力をつけましょう。

PACには、「公務員コース」、「教員コース」の二つが用意されており、2年次生までの基礎教養科目は共通です。基礎力をしっかりつけて専門科目の学習へと進みましょう。

### PAC講座の特長

- ①公務員・教員を目指す人に特に有効な講座です。（一般企業を視野に入れている人も、基礎的な教養を身につけるチャンスです。）
- ②基礎から専門へ、段階を追ったカリキュラム編成で、公務員試験対策は614.5時間、教員採用試験対策は405時間の講座が受けられます。PAC講座は、正課の授業と課外講座の2種類で構成されています。
- ③プログラムは1年次生からスタートします。課外講座は、2年次まで無料です。
- ④3年次からは専門業者による対策講座（有料）が始まります。  
※PAC講座における成績優秀者は、受講料が免除されます。詳細は、教務課PAC支援室にお問い合わせください。
- ⑤課外講座も登録が必要です。別途、案内する日程で各自登録してください。
- ⑥公務員・教員を目指す人は、先生やPAC支援室スタッフから、勉強方法や学習上の悩み、受験手続きなどに関するサポートが受けられます。

## 2. 公務員コース

「公務員」は大きく分類すると、「地方公務員」と「国家公務員」に分かれます。

「地方公務員」には、私たちに身近な市役所職員、広域的な組織である都道府県職員があり、それぞれ採用試験が行われます。警察官は都道府県単位で、消防士は原則として市町村単位（例外：東京のみ東京消防庁、大垣市などは広域消防組織）でそれぞれの仕事に特化した採用試験が行われます。これ以外に、市役所や都道府県では、社会福祉士の資格を要件とした福祉職の募集も行われます。

「国家公務員」は、国家総合職（旧国家Ⅰ種）、国家一般職（旧国家Ⅱ種）のように試験区分を分けて採用試験が実施されます。国家総合職は、全国単位での採用であるのに対し、国家一般職は、原則として東海地区や東海北陸地区などの地域ブロック単位での採用であることから、転勤の範囲は限られ、地元に近いところで勤務することが可能となります。専門職として、国税専門官、財務専門官、労働基準監督官などの採用試験も行われます。

公務員試験では、地方公務員のうち、警察官や消防士の試験、および市役所の一部の試験では、この講座で言う「教養部門」の科目だけの出題ですが、それ以外では「専門部門」の科目も出題されます。公務員試験のために勉強しなければならないことはたくさんありますが、このコースでは、1～2年次で基礎学力を養成し、3～4年次で公務員試験に特化した対策を行うことにより、順次、対策を行うことができます。なお、福祉職を受験する場合、通常、この講座の「教養部門」+社会福祉関連の専門科目の対策が必要になります。

公務員への就職を希望する学生は、PAC講座カリキュラム表（P96）を参照し、公務員コースの科目を順次、登録・受講してください。

1～2年次配当の13科目の中から最低6科目を履修し合格することが必須です。合格しない場合は3年次に開講される公務員対策講座ⅠのPAC奨学生の選考対象になることができません。

各科目の受講に際しては各種の制限等がありますので、登録の際、最初の授業での注意事項に留意してください。

### 3. 教員コース

教員は都道府県立、市町村立の小中高に属する公立学校の職員と私立学校の教員に分かれます。前者は毎年夏に試験が行われますが、倍率は比較的高めです。公立・私立に関わらず、教員になるためには教員免許状が必要ですので本学で取得することが前提です。このコースでは教員となるための基礎力と専門に関わる試験対策の学習をしていきます。各段階をきちんと習得することでステップアップしていきましょう。教員試験に関しての詳しいことはPAC支援室にご相談ください。

教員コースの科目は、次ページのPAC講座カリキュラム表で示すように教員になるための基礎力養成としての教養部門と専門養成の専門部門から構成されています。教職を希望する学生は全員登録してください。

1～2年次には14科目が開講され、その中から最低5科目を履修し合格することで、教育実習に向けた準備を行う3年次開講の「教職総合演習」が履修できます。「教職総合演習」を履修しないと、教育実習を4年次に行うことができず、教員免許状の取得が先送りになります。

教職課程科目の受講に際しては各種の制限等がありますので、教職課程ガイダンスや本冊子の「教職課程履修要項」で十分確認してください。

**<図書館から一言>** 図書館（2階）で、教職志望の皆さんに役立つ雑誌を読むことができます。

『教育』『季刊教育法』『教育委員会月報』『教育と文化 季刊フォーラム』『生活指導』

とくに体育科教員を目指す方には、『体育科教育』、『体育の科学』、『楽しい体育・スポーツ』があります。（最新号以外は貸出可）

### 4. PAC講座のカリキュラム

PAC講座のカリキュラムは、次ページのとおりです。**公務員を目指す人は公務員コースの科目を、教員を目指す人は教員コースの科目を必ず受講してください。**

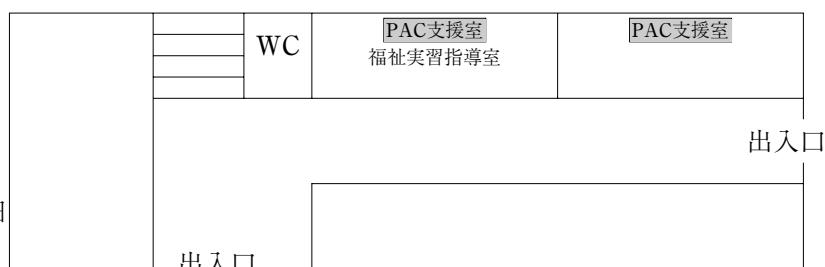
### 5. PAC支援室・PAC学習室

PAC支援室では、卒業後、主に公務員・教員になることを目指している学生の学習支援をしています。本学の学生であれば誰でも利用することができます。支援室には専属のスタッフが在室し、相談を受けています。学習上の悩み、計画の立て方など、なんでも相談してください。

また、静かな環境で自由に利用できるPAC学習室も、大いに利用してください。

#### PAC支援室

8号館1F ⇒⇒⇒⇒  
月～金曜日  
10:00～13:00  
14:00～18:00  
(休暇期間中): 月～金曜日  
9:00～13:00  
14:00～17:00



#### PAC学習室

8号館3F ⇒⇒⇒⇒  
月～土曜日  
9:00～21:00  
※3F以上は、教員の研究室エリアです。  
室内は勿論、階段や廊下でも静かな環境の保持に努めてください。



## 2021年度 PAC講座カリキュラム表

1回の授業は90分。網掛けは課外講座。

公務員コース・教員コース共通					
学年	種類	科目名	授業回数(90分)	定期試験(60分)	授業内容
1年	教養対策	PAC国語再入門	14	1	基礎から中級レベル
		PAC数学再入門	14	1	
		PAC基礎国語	14	1	
		PAC基礎数学	14	1	
		PAC基礎英語	14	1	
	総合演習	公務員総合演習基礎	15	1	演習
2年	職業解説、面接指導	PAC公務員学習プログラム	14	1	基礎から上級レベル
		PAC教職学習プログラム	15	1	
	教養対策	PAC教養英語	14	1	中級から実践試験対策
		PAC経済数学入門	14	1	
		PAC教養国語	14	1	
		PAC教養数学	14	1	
		教養講座数学	15	1	
		教養講座社会科学Ⅰ(政治・経済)	15	1	
		教養講座社会科学Ⅱ(地理・歴史)	15	1	
		教養講座自然科学(理科)	15	1	
	総合演習	公務員総合演習Ⅰ	15	1	演習

**【公務員コース・教員コース共通】**  
 <合格基準> 正課科目：「C」以上 課外科目：50点以上  
 <免除科目> 「基礎英語」：実用英語技能検定3級以上、または全国商業高等学校協会英語検定2級以上の取得者は免除されます。PAC支援室に申請してください。  
 「教養英語」：実用英語技能検定準2級以上の取得者は免除されます。PAC支援室に申請してください。

◆単位認定  
 「教養講座数学」、「教養講座社会科学Ⅰ」、「教養講座社会科学Ⅱ」、「教養講座自然科学」は、各学科の開講科目一覧における「自由科目」の「公務員・教養講座」の単位として認定されます。

公務員コース					
学年	種類	科目名	授業回数(90分)	定期試験(60分)	授業内容
3年	基礎対策	公務員基礎講座Ⅰ	15	1	文章理解・資料解釈
		公務員基礎講座Ⅱ	15	1	数的処理
		公務員基礎講座Ⅲ	15	1	政治
	専門対策(基礎)	PAC公務員対策講座Ⅰ	45	1	基礎6科目＋試験対策
	論文対策	教養講座論文・専門記述	15	1	論文試験対策
	総合演習	公務員総合演習Ⅱ	30	1	演習
4年	直前対策	PAC公務員対策講座Ⅱ	30	1	教養科目＋試験対策

※「公務員対策講座Ⅰ」は有料(20,000円)です。ただし、2年次終了までの教養対策科目の受講成績により、受講料が免除になる制度があります。

※「公務員対策講座Ⅱ」は有料(20,000円)です。ただし、「公務員対策講座Ⅰ」の受講成績により、受講料が免除になる制度があります。なお、「公務員対策講座Ⅱ」のうち、教養科目(10コマ)のみを受講する場合は7,000円です。

◆単位認定  
 ・「教養講座論文・専門記述」は、各学科の開講科目一覧における「自由科目」の「公務員・教養講座」の単位として認定されます。  
 ・「公務員基礎講座Ⅰ」、「公務員基礎講座Ⅱ」、「公務員基礎講座Ⅲ」は、各学科の開講科目一覧における「就職・資格取得支援科目」の「公務員基礎講座」の単位として認定されます。

教員コース					
学年	種類	科目名	授業回数(90分)	定期試験(60分)	授業内容
3年	専門対策(基礎)	PAC教職対策講座Ⅰ	10	1	教育法規Ⅰ
			7		教育心理Ⅰ
			12		教育原理Ⅰ
			6		教育史Ⅰ
			4		教育時事Ⅰ
	計	39			
4年	専門対策(直前)	PAC教職対策講座Ⅱ	5	1	教育法規Ⅱ
			4		教育心理Ⅱ
			5		教育原理Ⅱ
			2		教育史Ⅱ
			4		教育時事Ⅱ
	計	20			

※「教職対策講座Ⅰ」は有料(20,000円)です。ただし、2年次終了までの「教職学習プログラム」を含む教養対策科目の受講成績により、受講料が免除になる制度があります。

※「教職対策講座Ⅱ」は有料(20,000円)です。ただし、「教職対策講座Ⅰ」の受講成績により、受講料が免除になる制度があります。